

「アドベンチャー工学部」は、
科学に興味のある小学生、中学生、高校
生とその保護者が楽しく過ごすことので
きる体験型のイベントです。

ぜひお気軽にお立ち寄りください！



ホームページはこちら



木花キャンパス工学部で開催！
参加費無料、事前予約不要
一部当日予約が必要なものもあります。



当日は学園祭も開催！

宮崎大学 工学部

〒889-2192

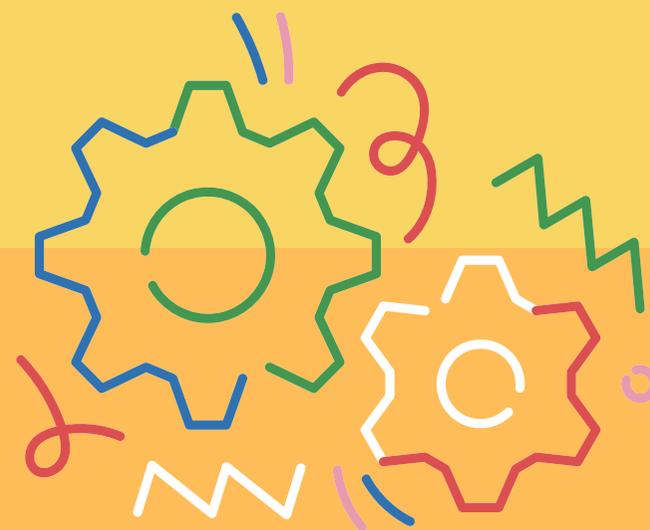
宮崎市学園木花台1丁目1

TEL : 0985-58-2871

E-Mail : kousoumu@of.miyazaki-u.ac.jp

HP : <https://www.miyazaki-u.ac.jp/tech/cooperation/adventuretec.html>

アドベンチャー 工学部



令和7年11月16日(日)

10:00~16:00

基礎コース ★小中学生対象

これ知っちゃる?世界を知るクイズ

工学基礎教育センター 担当:川崎 典子



日本であたりまえなことが、世界では不思議なことに思われるかもしれません。あなたが考える「あたりまえ」「おかしい」ということはほかの国ではどうなのでしょう。宮大にいる留学生に聞いた世界のいろいろな国の常識・非常識・・・いくつ正解できますか?

会場:B107講義室

カラフルな3D万華鏡を作ろう!

工学基礎教育センター 担当:小林 俊介

みなさんがよく知っている万華鏡は、内側に鏡が貼ってある筒を回しながら、小さなビーズがつくる模様を楽しむおもちゃです。ここでは、6枚の鏡を使って、立方体の万華鏡を作ってみたいと思います。しかも、みなさんの好きな色で、オリジナルの模様を作ります。どのような景色を覗くことができるでしょうか!?

会場:B107講義室

「つかめる水」を作ろう!

ものづくりセンター 担当:田之上 二郎



指でつかめる不思議な水をつくります。大きさや色を変えたり、中にビーズやおもちゃを入れたりして遊んでみましょう!

会場:ものづくりセンター

スクラッチで簡単なプログラミングを体験してみよう

ICTセンター 担当:森 圭史朗、甲斐 崇浩

長友 耀希、長友 祐磨

メディアラボが無償で公開しているビジュアルプログラミング言語であるスクラッチ (Scratch) は、画面上であらかじめ準備されているブロックを組み合わせることにより簡単にプログラムを作ることができる。Scratchで簡単なゲームを作ってプログラミングを体験してみよう。

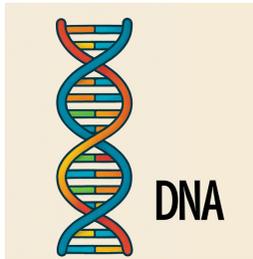
会場:B111講義室



応用コース ★中高生対象

DNAを取り出してみよう

化学生命プログラム 担当:松根 英樹



DNAとはデオキシリボ核酸の略で、生物の遺伝情報を記録する「生命の設計図」とも呼ばれる物質です。どんな生物も自身の細胞内にDNAを保持しています。今回は、野菜や果物などの植物細胞からDNAを抽出(取り出)します。また、きちんとDNAが抽出できているかを分析して確かめます。

会場:B109講義室

地盤の液状化現象を見てみよう

土木環境プログラム 担当:末次 大輔、神山 惇



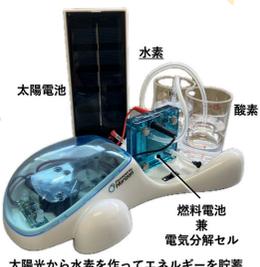
地震で地盤が揺れると、地盤が液体状になって建物が傾いたり沈んだりして甚大な被害を受けることがあります。模型の地盤を使って、地震発生時の地盤の液状化現象をご覧いただき、液状化被害のメカニズムや被害を防ぐ対策について解説します。

会場:B106講義室

太陽光と水で作るエネルギー

～水素カーを走らせよう～

半導体サイエンスプログラム 担当:浅見 明太



太陽光から水素を作ってエネルギーを貯蓄し、その水素で水素カーを動かします!

太陽電池で発電した電力を用いて水を電気分解し水素を生成してエネルギーを蓄積し、さらに燃料電池で水素と酸素を反応させて電気に戻して走行する「水素カー」キットに実際に触られます。再生可能エネルギーと水素技術の原理を直感的に学べます。ぜひ、次世代エネルギーを体験してください。

会場:晴天時 屋外
雨天時 D104講義室

電気ってなに?電子ってなに?

電気電子システムプログラム 担当:吉野 賢二



電気や電子の分野は、一見むずかしくてイメージしにくいかもしれませんが、けれども基本はとてもシンプルで、「電気をつくる」「電気を運ぶ」「電気をためる」「電気を使う」という4つの働きに分けられます。この電気・電子の世界を少しでも身近に感じてもらえるよう、自分の手で確かめることができる実験、実際の研究現場をのぞける見学ツアー、先輩学生に気軽に質問できる相談室を実施します。

会場:B112講義室

からだを使って球体ロボを操作!? ロボット!

機械知能プログラム 担当:山子 剛



宮崎大学で生まれた“体を動かしてロボットを自在に操る新感覚システム「ロボット」”。ロボットとの不思議な一体感「シンクロ」を楽しむことができ、リハビリテーション、ロコモ予防、特別支援学校など運動機能の向上に利用されています。医療・教育の現場で活躍しているロボットテクノロジーを親子で体験しよう!

会場:B108講義室

私たちの社会を支えるAI技術

情報通信プログラム 担当:伊達 章、高橋 伸弥



近年「人工知能 (AI)」という言葉が広く用いられていますが、その基盤には高度に発展した情報通信技術があります。本講義では、いくつかの機械学習アルゴリズムを演習を通して体験します。参加を希望される方はお使いのGoogleアカウント (学校で配布されたものや、スマートフォンで使用しているものなど) へのログイン情報をご準備ください。お持ちでない方は会場に対応いたします。

会場:情報基盤センター
実習室B1(107)